

No. 22

9月号

発行人

瀬 知行

2014年

10月 29日発行

全3枚

初の日曜礼拝のメッセージを担当する

“教会とは人々のこと。関係を大切に”と語る

いつもお祈りとご支援感謝致します。

毎号ご購読いただきありがとうございます。岩手は、9月になってすぐに涼しくなり、10月になってすっかり秋になりました。紅葉も見頃を迎えようとしています。震災から3年半が経ちました。今では被災地沿岸で活動していた支援団体はかなり減っていますが、仮設住宅等の数はあまり減っていないなく、復興住宅も建設中や建設予定という状態です。

さて、9月に私は人生で初めて日曜礼拝のメッセージを担当させていただきました。しかも母教会でもなく、釜石市の新生釜石教会です。めちゃめちゃ緊張しましたが、祈って皆さんの中に立つと感謝なことにリラックス



△礼拝後に記念として、話してある風な写真を撮りました。ヒゲにスース。



して、教会にとって大切な「人間関係」についてのメッセージを語ることが出来ました。こちらの教会には、定期的に日曜礼拝に出席させていただき、「共に礼拝をする」という形の私なりのサポートをさせていただいております。なので、メッセージの中でも聖書の御言葉や自分の過去の経験を通して、「教会とは、建物のことではなく、人々のことです。人間関係を大切にしましょう。」と話しましたが『メッセージで言うだけでなく、メッセージなる』ということを忘れずに、関係を大切にするというのを実践していきたいと思っています。

10月で岩手に引っ越して3年になりました！

2011年10月に岩手県に引っ越したので、この10月で丸3年となりました。あと最低でも7年は岩手にいます！振り返っても何かを成し遂げたという実感は全くありませんが、これからも皆さんに祈り支えられながら、共に岩手の方々と喜び、悩み、生きていきたいと思っています。チームのエディ、イエン、なほさんにも感謝です！



【特集】瀬知行と共同生活し宣教について学んだ今井信くんにインタビュー

この秋、東京から大船渡に一ヶ月間やってきた今井信くん23歳。この夏、初めて海外短期宣教に参加して熱いハートも持った彼を通して、宣教、岩手、瀬知行について聞いた！質問しているのは、もちろん私、瀬知行です！

Q. 今井くんはなぜ岩手に来ようと思いましたか？

(今井) 今までには、ただ教会に通っているだけで、生き方もイエスの弟子とは呼べない人間でしたが、夏にタイと台湾に短期宣教に行って、宣教は牧師や宣教師などの特別な人たちだけでなく、僕のような普通の人も出来るということが体験を通してわかりました。また宣教はその地に行って、その地の人々の必要を知ることも大事だと知りました。なので今回、練馬教会から派遣された（ネットワークでつながりがある）仲間達や JCMN のネットワークでつながりのある瀬知行君がいる岩手に、「宣教はライフスタイル」ということを学ぶためにきました。

Q. 瀬知行と一緒に1ヶ月生活しての感想は何ですか？特に彼から「宣教はライフスタイル」ということは学べましたか？

まず印象的だったのは、「宣教をするぞ！」と良い意味で力が入りすぎてないこと」です。岩手での宣教を長く続けるために、働きと休みをバランスよくとっていたと思います。

Q. えーっと…、それは自然体で宣教していたということですか？

そうです。

Q. よかったです。（休みまくってるみたいな誤解を生むかと焦りました…。）

はい。

彼が今井信くん→



Q. 今回学んだことは他にありますか？

意識的に人と会う時間をつくって、「フェイス・トゥ・フェイス（顔と顔を合わせる）」で関わっていくこと。あえて、地元の店で買い物したり、地元のイベントに積極的に参加したり関わったりして、地域に密着していることが大事だということを、瀬知行君と行動を共にして学びました。

Q. 震災から3年半が経った今、岩手の復興状況や人々について感じたことはありますか？

2011年に来た時と比べて、仮設商店街等は出来ていましたが今海岸近くは、かさ上げ工事ばかりで建物は無く、復興にはまだまだ時間がかかるなと思いました。仮設に住む方々（高齢者）は、家から出ない人も多いと感じました。また復興住宅や自宅再建を望む人が多いと思いました。また、岩手沿岸部はとにかく若い人が少ない！と感じました。あと、岩手の皆さんは東京から来た僕を温かく迎えてくださったという印象に残っています。

Q. 最後にかみおか新聞の読者に何か一言お願いします。特に瀬知行君のこと！

フルサポートを受けながら、宣教しているということは、他の仕事を持っていては中々出来ない地味なコーチングセミナーの準備や訪問などの人間関係の構築、急なニーズに応えることが出来る柔軟さがあつていいなと思いました。だけどその反面、色々やっていて忙しそうでした。宣教師は響きはかっこいいけど、やってることは地味で悩みも多いと思いました。（終）

【インタビュー後…】まあ確かに葛藤は色々ありますが、日々感謝して（意識的に）喜んでます！大丈夫です、僕は生きてます！今、個人的に学んでいることは、感謝、喜び、祈りです。

【目指せ宣教のムーブメント】



8月は軽井沢でのキャンプ、10月は東京の宣教の集まりで証をさせていただく機会を持ちました。神さまが岩手で働いて下さっていること、私のような普通の人間を用いて下さっていることを、次世代の若者に向けて話す機会を大切にしています。海外では、若者がどんどん宣教へと出て行っていますが、日本でもそれが当たり前になる日が必ず来る信じて、話せる機会を増やしたいと考えています。またキャンプでは普段以上に私のギャグが中高生にウケて、天国でした。

【おおふなと2030会議に参加】

最近「おおふなと2030会議」という市が主催しているまちづくりのワークショッピングに参加しています。市役所の職員やまちづくりに興味のある45歳以下の市民が参加していて、私も参加しながら、大船渡市の2030年の姿を皆さんと共に考えて、大船渡市の良い面や課題を地元の方と話したりしています。県外から来た者の視点を話して少しでも地域に貢献したいと思います。



主な活動報告	8月8~11日	餃子キャンプ（長野）	今後の活動予定	11月3~7日	CCMN グローバルサミット（マレーシア）
	8月中旬	香港チーム受け入れ		11月下旬	CCMN 東北チームリトリート
	9月30日	東日本宣教ネットワーク（仙台）		12月21日	クリスマスイベント「サンマチ」（大船渡）
	10月11日	JCMN ミッションわーるど（東京）		1月中旬	宣教報告会（山口県内各地）

祈りの課題

- ・香港では民主的な選挙を求めるデモが続いている。まだ長期化するようですが、友人が多くいるため、市民の安全を心配しています。平和的な解決の道のためお祈り下さい。
- ・11月にマレーシアで世界的なサミットに参加してきます。色々な国から人が集まるので、こつそりエボラ出血熱とか心配しています。お祈りください。

おらの上京物語

瀬 知行 山口県出身 平成元年8月9日生まれ 25歳 国内宣教師&保育士

瀬知行を支える会の住所:山口県山口市大内長野633-1

ブログ:「ともだちだよブログ」<http://blog.livedoor.jp/tomotomodati/>

支援献金の方法

私の活動は皆様の支援献金によって支えられております。経済的支援にご協力して下さる方はお手数ですが、以下のいずれかの方法で口座にお振込下さい。

ゆうちょ銀行口座番号: 01350-2-99626 名義: 瀬知行を支える会

他行からの振込 店名(店番) 一三九(イチサンキュウ) (139)

預金種目: 当座 口座番号: 0099626 「瀬知行を支える会」

郵貯振替口座番号: 01350-2-99626 名義 「瀬知行を支える会」



先日、おらはお台場のフジテレビに行って來たけど、意外にテンション上がって、自分のテレビっ子ぶりを再確認したぜよ。しかも偶然お昼の番組の中継やっててちょっとだけ映った。でもバイキングって視聴率低いから誰も見てないぜよ！ヒルナンデスに映ればよかったですかな？